

第 79 回（平成 28 年度第 2 回）番組審議会議事録

1. 開催日時 : 平成 28 年 7 月 26 日（火）午前 10 時 00 分～11 時 30 分

2. 会 場 : 西宮市役所東館 8 階 805 会議室

3. 委員の出席 : 委員総数 : 7 名
出席委員数 : 7 名

放送事業者側出席者 代表取締役社長 : 1 名

統括部長 : 1 名

西宮市広報課長 : 1 名

4. 議題

(1) 番組審議会規定改定について

(2) 番組内容についての審議

「LALALA にしきた 90 分ぐらい」

平成 28 年 7 月 21 日 木曜日 20:30～22:00 放送分

5. 議事概要

(1) 委嘱状交付

社長より審議委員のみなさんに審議をお願いするなど挨拶。今期 1 回目の審議委員会となるため委員の委嘱式をおこなった。

(2) 委員長、副委員長選任

事務局より今期最初の審議会なので委員長、副委員長の選出が必要である旨説明し、選任方法について意見を徴した。

委員より事務局に一任との声上がり、事務局は委員長、副委員長を提案。委員全員賛同があり選任された。委員長は委員長席に就き、就任の挨拶を行った。

その後事務局より本日の委員の出席状況として、委員総数 7 名中 7 名が出席しており、過半数以上の出席により審議会は有効に成立している旨の報告があった。

その後は議題に沿って審議会規則の改定の報告の後、審議番組について各委員からのご意見をいただき、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

(1) 番組審議会規定改定について

事務局：前回の委員会での審議で委員の皆さまから頂いたご意見を規定に反映し、社名の変更とともに総務省に届け出を完了しました。

(2) 番組の審議

委員長：聴いていただいた番組について質疑応答に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言を願いたい。

委員：地域振興のいい番組だと思う。他の地域ではつくっていないのか？

事務局：この番組での手応えを元に同様のものができないか声かけはしている。

委員：5年間放送して手応えは感じているのか？

事務局：最初は未経験の方々なので苦労はしたが、回を重ねるごとに上達しているのは感じている。内容も地域の、というよりは協議会の情報番組になるが通年で様々な事業をおこなっているのでイコール西北の情報と捉えているが、もう少し地域全体的な内容になるようには要望している。

委員：番組内容は出演者自身が考えているのか？

事務局：協議会の活動紹介がメインなので、実際に実務部分を請け負っているNPOのメンバーが整理して内容を組んでいる。

委員：この番組に対して局側の金銭的負担はありますか？

事務局：地域発信の番組を、とお願いしたので本番組に関しては発生させていない。協議会のイベントや広告での出稿はいただいている。

委員：コンテストの概要や予選の日程など詳しく言って欲しかった。五穀パンもお店の情報などもっと詳しく伝えたほうがよい。

事務局：B級グルメのコーナーは3回目で試行段階だが情報不足の部分は感じている。コンテストは公開予選が9月なので次回の放送では詳しく告知の予定です。

委員：地域の方々が生で出演し、その日の出来事を交え、番組を進めている。大変難しい番組作りに挑戦されており驚いた。よく聞けば、この日に芸文オペラ「夏夜の夢」の前夜祭が西北であり、それに携わった方々が出演していることが分る。しかし、ラジオからは出演者の興奮が前に出て、当日のイベントを知らな一般の視聴者には何が話題になっているのか分からない。番組のはじめにでもイベントの内容や人出の様子など、紹介がほしい。テレビなら画像で一目瞭然だ、ラジオは耳で伝える。仕切り役を作るか、役割分担を明確にした方が分かりやすい。良い企画と思うので、もう一工夫をお願いしたい。

事務局：前夜祭は協議会、オペラは芸術文化センターの事業なのだが、オペラそのも

のチケット情報などは触れないのか？と感じた部分も担当としてはある。

委員：トーク番組は難しい。5年間よくやっているし、成長されていると思う。地域振興の視点をもたないといけないので内輪話にならないように気をつけてほしい。

委員：今回、お話を頂いてから時間があれば、さくらFMを聞くようにしている。波は朝から晩まで阪神タイガースばかりで、ほかに話題はないのかと思うほど、面白くない。さくらFMはわれわれが若い頃に聞いたラジオのようで、身話題が多く、丁寧な番組作りをしていると感心した。高校生の吹奏楽部員が出「Nishinomiya WIND WAVE」や大学生の「キャンパス in にしのみや」もいですね。西宮と芦屋を合わせると、さくらFMがカバーしている人口は鳥取より多くなった。エリアが広がったのを機会に芦屋からも学生らが登場するの期待している。

副委員長：番組タイトルがよい。秒分を競う放送業界にあって「ぐらい」という曖昧なタイトルはコミュニティにしかできない発想でよい。地元の人たちが作っているのを育てていかなければいけない。生放送で聞いていたが内容はよくわからなかった。紹介されたイベントも今見たチラシで内容を把握したくらい。楽屋オチの印象なので、第三者に徹した進行役が必要。紹介されていた店も場所の情報などが不十分。本社ビルと言っていたが神戸が発祥で、ビルの正式名称も間違っている。もっと正確に紹介しなければいけない。北口の人でも北口外の人でもわからないので行ってみようという気にならない。調べなければわからないのであれば無駄。丁寧に指導しなければいけない。今の状態では非常に荒い。仕切り役を作れば非常にいい番組になる。北口が好き、北口に行ってみたいと思わせるようにもっと努力が必要。

事務局：第三者的な視点の必要性は感じている。番組や協議会の活動など各々と協議する機会をもつようにしているが、今後はより具体的に指導していきたい。

委員：他の委員と同じで内容的にはよくわからなかったが、OBが還ってくるという話を聴いていて北部地域でも同じようなイベントで町おこしができないのか？と考えた。

委員長：90分で西北をアピールする番組だがアピールになっていない、わからないというのが私の感想。

委員長：番組以外でその他にご意見等ありませんか？

委員：先日メールで報告されていた放送文化基金賞について紹介してほしい。

社長：着任時から毎年持ち込まれていた外部制作の番組。いつかこういう結果が出ればと思っていたが今回見事に獲得できた。近畿地区のコミュニティ FM でもコンクールがあり、昨年・今年とそれなりの評価をされたが、これははるかにレベルの高いもの。今回はその方のおかげでいい経験をさせてもらった。今後

もこの審議会で頂いたご意見も参考にして番組のありかたなどを検討していきたい。

副委員長：これまでも色々な番組を聴かせてもらい、意見等も申し上げてきたが、その後の改善点など聞かせてほしい気はする。今回の番組は皆さん厳しい意見も出たが、これこそが本物の番組として確立していかなければ。育てなければいけない番組なので大事にしてほしい。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。事務局は次回の審議会は平成28年9月23日の午前10時00分と決定し、会場と審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。議長は午前11時30分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法

近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ（URL <http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成28年7月26日
さくらFM株式会社